

多高通信

第141号 平成29年4月27日発行



さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

祝41回生入学おめでとう！

4月10日、校庭の桜のつぼみが膨らみ、春の足音が近づく中、平成29年度入学式が挙行され、普通科240名、災害科学科40名の計280名が多賀城高校に入学しました。

新入生代表の言葉



担任より呼名される新入生。
少し緊張しています。



翌11日には対面式・部活動紹介が行われ、各部の趣向を凝らした紹介や、生徒会執行部の自己紹介等が行われました。また、ホームルームにおける学級開きでは初々しく自己紹介する姿が見られ、ほほえましくも少し大人になったフレッシュな姿が見られました。

現在は各教科による授業オリエンテーションを終え、授業が本格的に始まりました。来月2日には秋保リゾート森林スポーツ公園での校外オリエンテーションが行われます。早く学校に慣れ、多高生として学習に部活動にどんな力注いでいってほしいと思います。

■新入生代表 小角神月(1年7組 高崎中出身)

私は、予備登校と入学式を通して、多賀城高校の先輩方の礼儀正しい姿勢に驚かされました。挨拶や案内など、自分の仕事をしっかりとこなしていく姿に憧れを抱きました。多賀城高校生として、自分も先輩方のように、人を良い気持ちにさせられるような生徒になりたいと思います。

いました。毎日のあいさつ、目上の人はもちろん同学年の人へも礼儀を大切にしながら高校生活を過ごしていきたいです。

クラスではまだ慣れない部分もありますが、少しずつお互いに打ち解けあっています。私は災害科学科に在籍しており3年間同じクラスで過ごすので、この40人で多くの経験を積んでいくことになります。行事や研修などを通して絆を深め、家族のようなクラスになれたらいいな、と思います。

そして、私の目標「失敗を恐れずに何事にも挑戦する」ということを達成できるよう、1日1日を大切にして、3年間を過ごしていきたいです。

保健特別授業

災害時における国際保健活動

3月6日・15日、講師として東北大学病院から後藤えり子さんと齋藤真さんをお招きし、2年生を対象に保健の特別授業を行いました。お二人は東北大学病院で看護師として勤務されながら、国際緊急援助隊やDMAT(デーマット)としても活動されています。DMATとは、災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team の頭文字を取ったもので、医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職及び事務職員)で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場において、おおむね48時間以内の急性期に活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。看護師の仕事などの基本的な内容に加えて、経験や事例などの貴重なお話をいただきました。普段と災害時での医療が異なることに驚いたり、そのような活動に取り組む時間を確保するために努力されていることに感心したりしていました。看護師を目指している生徒にとっては視野を広げる良い機会となりました。



部活動紹介の様子。
ラグビー部の勇壮な「ハカ」と、吹奏楽部の演奏披露！

奈良大学特別授業

「保存科学への誘い」

3月21日、2学年日本史B、地理B選択者を対象として、奈良大学文学部文化財学科教授の魚島純一先生の特別授業がありました。保存科学という一般的には馴染みのない研究ジャンルについて、軽やかな語り口と豊富な映像資料を基にわかりやすく解説して下さいました。

前半は「文化財を科学の目で見てみよう」というテーマで、X線などを用いて仏像や土偶の体内を透視したり、古墳の石室に残された絵具の分析から埋葬者の身分を推測したりするといった興味深い話が続き、後半は「文化財を保存すること」というテーマで、文化財の修理・修復や保存のための技術が紹介され、その重要性についても考えるといった構成でした。



魚島先生の文化財に対する熱意と愛情が随所で伝わってくる、あつという間の90分でした。

■生徒の感想

・私たちが住んでいる多賀城市は歴史的なものがとても多く、誇りを持っていましたが、それを支えているのは魚島先生のような文化財を守ってくれる方たちのおかげだと感じました。

・私はもともと歴史にあまり興味がある方ではなく、保存科学という言葉も初めて耳にしたのですが、今回の特別授業はメモをとる暇も惜しいくらい興味深いお話をたくさん伺うことができました。

・文化財の保護はプロの方でしかできないと思っていたましたが、博物館のワークショップなどで素人でも文化財保護に関わることができるというのが分かって、一度体験したいと思いました。

交流会報告

○神戸大学付属中等教育学校交流会

3月23日、神戸大学附属中等教育学校(以下、神戸大附属)のDR3の皆さんとの交流会を行いました。教員2名、生徒7名が訪れ、減災アクションカードの開発や、復興住宅に関する課題研究について、意見交換を行いました。

最初に、神戸大附属の生徒さんから本校の取り組み「まち歩き」を参考にして神戸で行ったフィールドワークについて発表がありました。次に、減災アクションカードについて、意見交換を行いました。本校では、減災アクションカードを使用した経験がないため、神戸大附属の生徒さんから実施の目的や実施方法についてアドバイスを受けました。続いて、本校1年5組鈴木悠平くんのグループが行った復興住宅に関する課題研究のポスター発表を行い、そのあと、東日本大震災における復興住宅の現状を本校生徒が伝え、神戸大附属の生徒さんから神戸の現状を聞くことで、今後の復興住宅のあり方や問題点について話し合いました。

減災アクションカード



んから実施の目的や実施方法についてアドバイスを受けました。続いて、本校1年5組鈴木悠平くんのグループが行った復興住宅に関する課題研究のポスター発表を行い、そのあと、東日本大震災における復興住宅の現状を本校生徒が伝え、神戸大附属の生徒さんから神戸の現状を聞くことで、今後の復興住宅のあり方や問題点について話し合いました。

○桜美林高校・大学 防災交流会

3月25日、東京の桜美林高校の生徒40名、桜美林大学の学生5名が本校を訪れ、防災活動に関する交流会を行いました。イオン多賀城店から末の松山までのまち歩きを行った後、学校に会場を移し減災アクションカードゲームを行いました。

昨年度に引き続き2回目の交流会となり、今後両校での交流活動を続けていきたいと思ひます！



神戸大附属の生徒さんの発表